

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 オリコン株式会社

コード番号 4800 URL <http://www.oricon.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小池 恒

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企業広報部長 (氏名) 日高輝明

TEL 03-3405-5252

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,293	△1.1	483	△15.7	432	△21.2	196	△46.5
23年3月期第2四半期	3,330	19.7	573	92.7	548	84.4	366	95.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 204百万円 (△46.2%) 23年3月期第2四半期 379百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1,244.21	1,241.40
23年3月期第2四半期	2,343.31	2,323.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,908	2,223	38.5
23年3月期	5,060	2,169	36.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 1,887百万円 23年3月期 1,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	800.00	800.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	800.00	800.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,060	4.0	1,250	2.3	1,160	1.2	660	△17.1	4,178.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	157,950 株	23年3月期	157,950 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	600 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	157,786 株	23年3月期2Q	156,461 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載している業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する情報	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年9月30日)におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復旧・復興とともに、企業の生産活動や個人消費が回復の兆しを見せ始めたものの、欧州の金融不安やそれに伴う急激な円高の進行等によって、先行き不透明な状況で推移しました。一方、情報通信の分野においては、通信キャリア各社よりスマートフォンの新製品が次々と販売開始になり、スマートフォン市場が急速に拡大しました。株式会社MM総研の調べでは、平成23年度上期(平成23年4月～9月)のスマートフォンの出荷台数は、前年同期比4.5倍の1,004万台となり、携帯電話端末全体の総出荷台数の49.5%を占める結果となっています。また、出荷されたスマートフォンのOS別では、Android[®]のシェアがスマートフォン全体の79.6%に及んでいます。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間において当社グループでは、スマートフォンへの対応を推進し、積極的に先行投資を行いました。一方、当第2四半期連結累計期間の前半においては、東日本大震災の影響で、広告販売において一時的な影響を受けました。

当第2四半期連結累計期間において実施した主なスマートフォン対応は、次の通りであります。

1. 音楽配信サービス(「オリコンスタイル」アプリ)

Android携帯電話向けの音楽配信サービスについては、配信楽曲の充実に注力し、レコード会社各社と交渉を継続的に行い、現状において、フィーチャーフォン向けの着うたフル[®]とほぼ同水準の楽曲ラインナップとなりました。また、対応端末を増やすとともに、ユーザーの利便性と満足度を高めるため、デザイン(ユーザーインターフェイス)を一新するリニューアルも行いました。さらに、サムスン電子株式会社と音楽配信サービスにおいて連携し、平成23年6月に株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモより発売された新機種「GALAXY S II (SC-02C)」に「オリコンスタイル」アプリが初期搭載(プリインストール)され、ユーザー獲得、並びに楽曲ダウンロードの促進に寄与しました。

⇒スマートフォン向け音楽配信サービス「オリコンスタイル」は、平成23年11月中旬にサービスブランドを「オリコンミュージックストア」に名称変更し、サービスの拡充、並びにコンテンツの充実に図る予定です。

2. 「オリコンアプリランキング」

スマートフォンにおいてソーシャルゲーム市場が活況になってきている状況を睨み、ユーザー満足度に基づく「オリコンソーシャルゲームランキング」の開発に着手しました。当社グループがスマートフォン向けに提供している様々なアプリのコンテンツ内、並びにスマートフォンに最適化されたWEBページ(平成23年9月度の月間ユニークユーザー数:304万人)に「オリコンソーシャルゲームランキング」を掲載し、そのランキングから直接、ランクインしているゲームの利用開始ページ、またはダウンロードページにユーザーを誘導し、これを広告商品としてゲーム提供企業に販売します。ソーシャルゲームのユーザー満足度調査を機動的かつ効率的に行うアンケートシステムの開発を含め、先行投資を行いました。

すでに、ユーザー満足度に基づく「オリコンアプリランキング」を平成22年12月より提供しており、「オリコンアプリランキング」からのアプリのダウンロードを促進し、かつ広告売上を伸ばすため、平成23年7月に、アプリのダウンロードによってユーザーにポイント(広告商品として販売)が付与される仕組みを導入するなど、大幅なリニューアルを行いました。

3. 一般向け週刊エンタテインメント誌「オリ★スタ」のアプリ

「オリ★スタ」アプリの無料提供を、平成23年6月にAndroid携帯電話向けに開始しました。ユーザーは、「オリ★スタ」アプリで写真や記事を見て、「雑誌を買いたい」と思ったら、「ワンタップ」でネット通販サイトに誘導され、手軽に雑誌「オリ★スタ」を購入することができます。平成

23年7月に雑誌「オリ★スタ」の大幅なリニューアルを実施し、販売価格の値上げを行ったことから、Amazon.co.jpでの取り扱いがレギュラー化され、通販全体の販売部数が伸び、「オリ★スタ」アプリを経由して購入される部数がその伸びに貢献しました。また、平成23年8月に株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモより発売されたシャープ株式会社製のAndroid携帯電話の新機種「SH-13C」に「オリ★スタ」アプリがプリインストールされ、アプリのユーザーが増加しました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの状況は、以下の通りであります。

①WEB事業

東日本大震災によって、4月、5月に予定されていたキャンペーン企画が延期もしくは中止になった影響により、タイアップ型広告とバナー広告の販売において一時的な機会損失として15百万円が発生しました。一方、顧客満足度(CS)ランキング連動型広告については、堅調に推移しており、6月より2ジャンル追加したことも奏功し、クライアント契約している社数が6月度に初めて100社を超え、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期と比べて17.7%増加しました。また、携帯電話向けのゲームやきせかえコンテンツ等の制作受託についても、SNSサイト運営会社へのゲームの販売が伸びました。

以上の結果、WEB事業全体の当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比15百万円増(3.2%増)の504百万円、セグメント利益は前年同期比1百万円増(1.3%増)の157百万円となりました。

②モバイル事業

着うたフルについては、新規の会員獲得が進み、売上高は、前年同期と比べて46百万円増(3.6%増)となりました。着信メロディと着うた*については、市場全体の縮小に伴って、退会者数が入会者数を上回って推移し、それぞれの売上高は、前年同期と比べ、着信メロディが44百万円減(18.9%減)、着うたが60百万円減(23.3%減)となりました。一方、スマートフォン関連のサービスとして、「オリコンアプリランキング」については、売上高は5百万円に留まり、費用が先行する状況で推移しました。

以上の結果、モバイル事業全体の当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比63百万円減(3.5%減)の1,764百万円、セグメント利益は前年同期比81百万円減(12.4%減)の578百万円となりました。

③雑誌事業

現在、一般向け週刊エンタテインメント誌「オリ★スタ」、オーディション情報誌「月刊デ・ビュー」、エンタテインメント業界向けビジネスマガジン「ORIGINAL CONFIDENCE」の3誌を発行していますが、雑誌広告市況が低迷している影響を受け、広告出稿が前年同期と比べて減少し、当第2四半期連結累計期間の雑誌事業全体の売上高は前年同期比12百万円減(1.8%減)の685百万円、セグメント利益は前年同期比52百万円減(26.8%減)の144百万円となりました。

一般向け週刊エンタテインメント誌「オリ★スタ」については、誌面の充実を継続的に図っていること、7月の大幅リニューアルによって一冊当たり平均100円値上げしたこと、「オリ★スタ」アプリからの購入も加わってネット通販全体の売上が伸びたこと等を主な要因として、当雑誌の購読売上は前年同期と比べ、12.5%増加しました。

④データサービス事業

データサービス事業は、①音楽データベース提供サービス(放送局向け及びEコマースサイト向け)とランキング情報などの販売(マスコミ向け)、②音楽ソフト・映像ソフト・書籍のマーケティングデータを提供するオンラインサービス「ORICON BiZ online」で構成されています。

当第2四半期連結累計期間においては、前年同期に不振だった放送局へのランキング情報などの販売が回復しました。また、「ORICON BiZ online」についても、メニュー追加等による契約単価のアップを図ったことが奏功し、その売上高は前年同期と比べて4.9%増加しました。

以上の結果、データサービス事業全体の当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比27百万円増(8.9%増)の337百万円、セグメント利益は前年同期比17百万円増(20.4%増)の102百万円となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績については、売上高は前年同期比36,663千円減(1.1%減)の3,293,349千円、営業利益は前年同期比90,230千円減(15.7%減)の483,348千円、経常利益は前年同期比116,464千円減(21.2%減)の432,280千円となりました。営業利益の減少額より経常利益の減少額が大きくなりましたが、これは主として、前年同期に計上した持分法による投資利益や保険返戻金が当第2四半期連結累計期間では計上されず営業外収益が減少したこと、支払利息の額は減少したものの、持分法による投資損失を計上したため営業外費用が増加したことによるものであります。四半期純利益については、前年同期比170,318千円減(46.5%減)の196,318千円を計上しました。経常利益の減少率より四半期純利益の減少率が大きくなった主な要因は、当第2四半期連結累計期間において投資有価証券売却損26,070千円、災害による損失10,782千円等を特別損失として計上したこと、税金費用が法定実効税率並みになったこと等であります。前年同期には税効果会計の適用によって、税務上発生した繰越欠損金が税金費用を抑えていましたが、前連結会計年度末において課税所得と相殺可能な繰越欠損金がなくなったため、当第2四半期連結累計期間においては、税金費用が法定実効税率並みになりました。

※Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。

※着うた、着うたフルは、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は4,908,129千円となり、前連結会計年度末と比べ、152,326千円減少しました。現金及び預金は289,897千円増加しましたが、売掛金、のれん、投資有価証券等は減少しました。負債合計は2,684,519千円となり、前連結会計年度末と比べ、206,459千円減少しましたが、未払法人税等が184,371千円減少したことが、主な変動要因であります。純資産合計は2,223,610千円となり、前連結会計年度末と比べ54,132千円増加しましたが、これは四半期純利益196,318千円を計上したものの、配当金126,360千円の支払、自己株式24,689千円の取得があったためであります。自己資本比率については38.5%となり、前連結会計年度末と比べ、2.0ポイント上昇しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比べ296,097千円増加し、1,033,888千円となりました。

営業活動により増加した資金は636,013千円(前年同期は493,283千円の増加)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益397,619千円を計上したことによるものであります。

投資活動により減少した資金は123,210千円(前年同期は436,272千円の減少)となりました。これは主として有形固定資産の取得による支出49,863千円、無形固定資産の取得による支出59,718千円によるものであります。

財務活動により減少した資金は216,706千円(前年同期は83,111千円の増加)となりました。これは主として配当金の支払124,136千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の連結業績の実績値については、当初計画との対比で、売上高が98.6%、営業利益が105.1%、経常利益が105.4%となっており、概ね当初計画に沿って進捗しております。現時点において、第3四半期、第4四半期の見通しについても、当初計画から大きく乖離するものではないため、平成23年5月9日に公表した通期の連結業績予想の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	760,991	1,050,888
受取手形及び売掛金	1,352,224	1,294,427
商品及び製品	8,637	7,837
仕掛品	18,678	9,192
その他	682,174	338,382
貸倒引当金	△20,184	△19,997
流動資産合計	2,802,520	2,680,730
固定資産		
有形固定資産	315,891	335,802
無形固定資産		
のれん	643,836	620,471
ソフトウェア	359,298	360,783
その他	3,209	3,209
無形固定資産合計	1,006,343	984,463
投資その他の資産		
投資有価証券	343,192	296,745
その他	606,310	625,813
貸倒引当金	△19,832	△19,703
投資その他の資産合計	929,670	902,855
固定資産合計	2,251,905	2,223,122
繰延資産	6,029	4,277
資産合計	5,060,456	4,908,129
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	312,416	317,784
短期借入金	100,000	130,000
1年内返済予定の長期借入金	460,936	527,472
1年内償還予定の社債	96,000	96,000
未払法人税等	230,105	45,733
返品調整引当金	14,185	24,911
その他	579,853	609,551
流動負債合計	1,793,496	1,751,453
固定負債		
社債	274,000	226,000
長期借入金	823,482	707,066
固定負債合計	1,097,482	933,066
負債合計	2,890,978	2,684,519

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,090,916	1,090,916
資本剰余金	12,799	12,799
利益剰余金	761,469	831,428
自己株式	—	△24,689
株主資本合計	1,865,185	1,910,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,234	△22,741
その他の包括利益累計額合計	△17,234	△22,741
新株予約権	△5,267	△4,086
少数株主持分	326,793	339,982
純資産合計	2,169,477	2,223,610
負債純資産合計	5,060,456	4,908,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,330,013	3,293,349
売上原価	1,931,272	1,940,810
売上総利益	1,398,740	1,352,539
返品調整引当金戻入額	11,155	14,185
返品調整引当金繰入額	19,436	24,911
差引売上総利益	1,390,459	1,341,812
販売費及び一般管理費	816,879	858,464
営業利益	573,579	483,348
営業外収益		
受取利息	1,903	1,853
持分法による投資利益	5,514	—
受取家賃	4,740	4,740
保険戻戻金	5,645	—
その他	3,791	1,234
営業外収益合計	21,595	7,828
営業外費用		
支払利息	24,991	21,722
支払手数料	10,571	8,985
持分法による投資損失	—	14,206
その他	10,867	13,981
営業外費用合計	46,430	58,896
経常利益	548,745	432,280
特別利益		
貸倒引当金戻入額	204	—
新株予約権戻入益	—	3,096
特別利益合計	204	3,096
特別損失		
固定資産除却損	633	288
投資有価証券売却損	0	26,070
投資有価証券評価損	1,520	378
災害による損失	—	10,782
貸倒損失	6,000	—
支払手数料	1,529	238
特別損失合計	9,683	37,758
税金等調整前四半期純利益	539,266	397,619
法人税、住民税及び事業税	164,287	38,226
法人税等調整額	△8,949	149,883
法人税等合計	155,338	188,110
少数株主損益調整前四半期純利益	383,927	209,508
少数株主利益	17,290	13,189
四半期純利益	366,637	196,318

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	383,927	209,508
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,398	△5,506
その他の包括利益合計	△4,398	△5,506
四半期包括利益	379,529	204,001
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362,238	190,812
少数株主に係る四半期包括利益	17,290	13,189

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	539,266	397,619
減価償却費	86,954	94,190
のれん償却額	23,365	23,365
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,773	△315
受取利息及び受取配当金	△1,921	△1,871
支払利息	24,991	21,722
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	26,070
売上債権の増減額 (△は増加)	△19,868	55,765
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,099	11,574
仕入債務の増減額 (△は減少)	6,866	5,368
その他	△33,679	246,146
小計	628,847	879,635
利息及び配当金の受取額	1,921	1,871
利息の支払額	△26,098	△21,559
法人税等の支払額	△111,386	△223,933
営業活動によるキャッシュ・フロー	493,283	636,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△18,821	△49,863
無形固定資産の取得による支出	△61,683	△59,718
投資有価証券の取得による支出	△151,050	—
投資有価証券の売却による収入	26,070	0
関係会社株式の取得による支出	△248,000	—
貸付金の回収による収入	4,402	83
その他	12,809	△13,711
投資活動によるキャッシュ・フロー	△436,272	△123,210
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△114,000	30,000
長期借入れによる収入	420,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△180,468	△249,880
社債の償還による支出	△28,000	△48,000
株式の発行による収入	1,141	—
割賦債務の返済による支出	△15,562	—
自己株式の取得による支出	—	△24,689
配当金の支払額	0	△124,136
財務活動によるキャッシュ・フロー	83,111	△216,706
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	140,122	296,097
現金及び現金同等物の期首残高	897,596	737,791
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,037,718	1,033,888

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	WEB	モバイル	雑誌	データ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	488,971	1,828,075	698,321	310,090	3,325,459	4,553	3,330,013
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,133	5,357	8,753	1,288	50,533	—	50,533
計	524,105	1,833,432	707,075	311,379	3,375,992	4,553	3,380,546
セグメント利益	155,364	660,074	197,542	85,378	1,098,359	3,734	1,102,093

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客へのブランド使用料等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,098,359
「その他」の区分の利益	3,734
セグメント間取引消去	6,746
のれんの償却額	△23,365
全社費用(注)	△511,895
四半期連結損益計算書の営業利益	573,579

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	WEB	モバイル	雑誌	データ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	504,775	1,764,186	685,521	337,543	3,292,027	1,321	3,293,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,845	4,707	7,577	400	41,530	—	41,530
計	533,621	1,768,893	693,098	337,943	3,333,557	1,321	3,334,879
セグメント利益又は 損失(△)	157,328	578,440	144,614	102,773	983,157	△1,525	981,631

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客へのブランド使用料等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	983,157
「その他」の区分の利益	△1,525
セグメント間取引消去	644
のれんの償却額	△23,365
全社費用(注)	△475,561
四半期連結損益計算書の営業利益	483,348

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月18日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、実施いたしました。平成23年5月19日から平成23年9月30日までに600株、24,689千円の自己株式を取得いたしました。